

「使用上の注意」改訂のお知らせ

気管支拡張・鎮咳剤、昇圧剤

劇薬、処方箋医薬品^{注)}

日本薬局方 エフェドリン塩酸塩注射液

エフェドリン「ナガサ」注射液40mg

製造販売元 日 医 工 株 式 会 社
富 山 市 総 曲 輪 1 丁 目 6 番 21

注) 注意－医師等の処方箋により使用すること

この度、上記製品において、「使用上の注意」の一部を改訂（下線部）しましたので、お知らせ申し上げます。今後の弊社製品のご使用に際しましては、下記内容をご高覧くださいますようお願い申し上げます。

＜改訂内容＞（：自主改訂、：削除箇所）

改訂後			改訂前		
10. 相互作用			10. 相互作用		
10.1 省略（変更なし）			10.1 省略		
10.2 併用注意（併用に注意すること）			10.2 併用注意（併用に注意すること）		
薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子	薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子
ハロゲン化吸入麻酔剤 セボフルラン イソフルラン デスフルラン	心室細動、心室頻拍等の不整脈があらわれることがある。	ハロゲン化吸入麻酔剤は交感神経刺激剤に対する心筋の感受性を高める。	ハロゲン化吸入麻酔剤 ハロタン セボフルラン エンフルラン イソフルラン	心室細動、心室頻拍等の不整脈があらわれることがある。 <u>なお、ハロタンは他のハロゲン化吸入麻酔剤よりも心筋への作用が強いとされているので、特に注意すること。</u>	ハロゲン化吸入麻酔剤は交感神経刺激剤に対する心筋の感受性を高める。
モノアミン酸化酵素阻害剤 セレギリン塩酸塩 ラサギリンメシル酸塩 サフィナミドメシル酸塩	<u>血圧上昇、頻脈等の発現が報告されている。</u>	<u>これらの薬剤のMAO-B選択性が低下した場合、交感神経刺激作用が増強されると考えられる。</u>	モノアミン酸化酵素阻害剤 セレギリン塩酸塩 ラサギリンメシル酸塩 サフィナミドメシル酸塩 甲状腺製剤 レボチロキシシン リオチロニン <u>等</u>	<u>本剤の作用が増強されるおそれがあるので、減量するなど慎重に投与すること。</u>	併用により交感神経刺激作用が増強される。
甲状腺製剤 レボチロキシシン リオチロニン	<u>冠動脈疾患のある患者に併用すると、本剤の作用を増強し、冠不全のリスクが増大するおそれがある。</u>	<u>これらの薬剤が心臓のカテコールアミンに対する感受性を増大するおそれがある。</u>			
省略（変更なし）			省略		

<改訂内容> (_____ : 自主改訂、 _____ : 削除箇所)

改訂後			改訂前		
10.2 併用注意（併用に注意すること）（つづき）			10.2 併用注意（併用に注意すること）（つづき）		
薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子	薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子
ジギタリス製剤 ジゴキシン メチルジゴキシン デスラノシド	不整脈を起こすおそれがある。	本剤及びジギタリス製剤の薬力学的相互作用により、不整脈が誘発されるおそれがある。	ジギタリス製剤 ジゴキシン ジギトキシン 等	不整脈を起こすおそれがある。	本剤及びジギタリス製剤の薬力学的相互作用により、不整脈が誘発されるおそれがある。
クロフェダノール塩酸塩	クロフェダノール塩酸塩の作用が減弱されることがある。	クロフェダノール塩酸塩は咳中枢に作用し、咳嗽抑制作用を示す。	←追記		
マオウ含有製剤 葛根湯 小青竜湯 麻黄湯 等	不眠、発汗過多、頻脈、動悸、全身脱力感、精神興奮等があらわれやすくなるので、減量するなど慎重に投与すること。	交感神経刺激作用が増強されることが考えられる。	←追記		

<改訂理由>

- ・相互作用相手薬の添付文書との整合を図るため、10.2 併用注意を改訂しました。
- ①「デスフルラン」、「メチルジゴキシン」、「デスラノシド」、「クロフェダノール塩酸塩」、「マオウ含有製剤」を追記しました。
- ②すでに販売中止・経過措置期間満了となっている「ハロタン」、「エンフルラン」、「ジギトキシン」を削除しました。
- ③「モノアミン酸化酵素阻害剤」と「甲状腺製剤」の項を分け、各々の臨床症状・措置方法及び機序・危険因子を記載しました。

<GS1 バーコード>

最新の注意事項等情報につきましては、添付文書閲覧アプリ「添文ナビ[®]」で下記 GS1 バーコードを読み取ることで、スマートフォンやタブレット端末でご覧いただけます。

なお、「添文ナビ[®]」アプリにつきましては、ご使用になれる端末に合わせて「App Store」または「Google Play」よりダウンロードしてください。

エフェドリン「ナガサ」注射液



今回の改訂内容につきましては、日本製薬団体連合会発行の「DRUG SAFETY UPDATE (DSU) 医薬品安全対策情報 No.335」(2025 年 4 月発行)に掲載の予定です。

また、改訂後の電子化された添付文書は医薬品医療機器総合機構ホームページ (<https://www.pmda.go.jp/>) ならびに弊社ホームページ「医療関係者の皆さまへ」(<https://www.nichiiko.co.jp/medicine/>)に掲載されます。

エフェドリン塩酸塩 25-002A